トモニホールディングス株式会社
News Release

高松市亀井町7番地1
TEL. 087-812-0102
https://www.tomony-hd.co.jp/

令和８年11月13日

各　　位

トモニホールディングスグループの令和９年３月期第２四半期決算概要について

トモニホールディングス（本社：香川県高松市、社長：中村　武）は、令和９年３月期第２四半期（令和８年４月１日～令和８年９月30日）連結業績等の概要と、当社グループの中核企業である徳島大正銀行（本店：徳島県徳島市、頭取：板東豊彦）及び香川銀行（本店：香川県高松市、頭取：有木　浩）の単体業績等の概要について発表いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

１．トモニホールディングス

（１）令和９年３月期第２四半期（令和８年４月１日～令和８年９月30日）連結業績

当第２四半期における経営成績につきましては、経常収益は、株式等売却益の減少によりその他経常収益が減少したものの、貸出金利息の増加により資金運用収益が増加したこと、役務取引等収益が増加したこと等により、前年同期比5,045百万円増加して56,814百万円となりました。経常費用は、与信関連費用が減少したものの、預金利息の増加により資金調達費用が増加したこと等により、前年同期比1,558百万円増加して43,469百万円となりました。その結果、経常利益は、前年同期比3,487百万円増加して13,345百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は、前年同期比3,647百万円増加して9,315百万円となりました。

当第２四半期末における財政状態につきましては、総資産残高は、前年度末比1,779億円増加して５兆3,819億円、純資産残高は、前年度末比７億円増加して2,980億円となりました。また、譲渡性預金を含む預金等残高は、前年度末比910億円増加して４兆8,040億円、貸出金残高は、前年度末比680億円増加して３兆9,147億円、有価証券残高は、前年度末比668億円増加して8,400億円となりました。

		令和９年３月期 第２四半期	前年同期比
損益	経常収益	56,814百万円	5,045百万円
	経常費用	43,469百万円	1,558百万円
	経常利益	13,345百万円	3,487百万円
	親会社株主に帰属する中間純利益	9,315百万円	3,647百万円
		令和９年３月期 第２四半期末	前年度末比
主要勘定残高・諸比率	総資産	53,819億円	1,779億円
	純資産	2,980億円	7億円
	預金等（譲渡性預金を含む）	48,040億円	910億円
	貸出金	39,147億円	680億円
	有価証券	8,400億円	668億円
	自己資本比率（国内基準）	9.49％	0.04％

（２）令和９年３月期通期（令和８年４月１日～令和９年３月31日）連結業績予想

令和８年５月14日に公表しております令和９年３月期通期の連結業績予想につきましては、以下のとおり修正しております。

①修正内容　　（単位：百万円）

	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
前回発表予想（A）	26,600	17,850
今回修正予想（B）	27,000	18,400
増　減　額　（B－A）	400	550
増　減　率　（％）	1.5	3.0

②修正理由

第２四半期までは、上記のとおり順調に推移し、前回公表しておりました中間連結業績予想（経常利益12,650百万円、親会社株主に帰属する中間純利益8,250百万円）を上回っており、第３四半期以降は、国債等を主体として有価証券関係損益における損失計上が当初見込みを1,800百万円程度上回るものの、資金利益が当初見込みを1,400百万円（外貨調達コスト控除後では850百万円）程度上回ること等により、令和９年３月期通期の連結業績予想における経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益につきまして上方修正するものであります。

２．徳島大正銀行

（１）令和９年３月期第２四半期（令和８年４月１日～令和８年９月30日）単体業績

当第２四半期の損益状況は、経常収益は、貸出金利息及び役務取引等収益が増加したこと等により、前年同期比4,183百万円増加して30,366百万円となりました。

また、上記要因の他、預金利息が増加したこと、外貨調達に伴う外国為替売買損が減少したこと等により、コア業務粗利益は、前年同期比1,743百万円増加して20,061百万円となり、銀行本業の収益を示すコア業務純益は、前年同期比1,477百万円増加して10,444百万円となりました。

経常利益は、コア業務純益が増加したことに加え、与信関連費用が減少したこと等により、前年同期比3,584百万円増加して7,511百万円となり、中間純利益は、前年同期比2,859百万円増加して5,139百万円となりました。

当第２四半期末の主要勘定残高の状況は、譲渡性預金を含む預金等残高は、個人預金を中心に増加し、前年度末比508億円増加して２兆5,803億円となりました。預り資産を加えた総預り資産残高は、前年度末比753億円増加して２兆7,810億円となりました。また、貸出金残高は、中小企業・個人向け貸出等に積極的に取組みました結果、前年度末比66億円増加して２兆863億円となりました。なお、自己資本比率（国内基準）は8.89％となりました。

金融再生法開示債権額は、前年度末比928百万円増加して34,227百万円、総与信に占める割合は1.61％となりました。

		令和９年３月期 第２四半期	前年同期比
損益	経常収益	30,366百万円	4,183百万円
	コア業務粗利益	20,061百万円	1,743百万円
	コア業務純益	10,444百万円	1,477百万円
	経常利益	7,511百万円	3,584百万円
	中間純利益	5,139百万円	2,859百万円
	本業利益（外貨調達コスト控除後）	5,890百万円	641百万円
	与信関連費用	323百万円	△2,652百万円
		令和９年３月期 第２四半期末	前年度末比
主要勘定残高・諸比率	総資産	28,437億円	1,031億円
	預金等（譲渡性預金を含む）	25,803億円	508億円
	総預り資産	27,810億円	753億円
	貸出金	20,863億円	66億円
	有価証券	4,483億円	546億円
	自己資本比率（国内基準）	8.89％	0.14％
不良債権	金融再生法開示債権額	34,227百万円	928百万円
	総与信に占める割合	1.61％	0.04％

（２）令和９年３月期通期（令和８年４月１日～令和９年３月31日）単体業績予想

令和８年５月14日に公表しております令和９年３月期通期の単体業績予想につきましては、以下のとおり修正しております。

（単位：百万円）

	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	15,150	10,000
今回修正予想（B）	15,300	10,350
増　減　額　（B－A）	150	350
増　減　率　（％）	0.9	3.5

３．香川銀行

（１）令和９年３月期第２四半期（令和８年４月１日～令和８年９月30日）単体業績

当第２四半期の損益状況は、経常収益は、貸出金利息及び役務取引等収益が増加したこと等により、前年同期比1,022百万円増加して23,338百万円となりました。

また、コア業務粗利益は、前年同期比901百万円増加して15,134百万円となり、銀行本業の収益を示すコア業務純益は、前年同期比896百万円増加して7,626百万円となりました。

経常利益は、株式等関係損益が減少したことから、前年同期比125百万円減少して5,622百万円となり、中間純利益は、法人税等の減少により前年同期比760百万円増加して4,076百万円となりました。

当第２四半期末の主要勘定残高の状況は、譲渡性預金を含む預金等残高は、個人・法人預金ともに増加し、前年度末比411億円増加して２兆2,319億円となりました。預り資産を加えた総預り資産残高は、前年度末比535億円増加して２兆3,993億円となりました。また、貸出金残高は、中小企業・個人向け貸出等に積極的に取組みました結果、前年度末比638億円増加して１兆8,401億円となりました。なお、自己資本比率（国内基準）は9.80％となりました。

金融再生法開示債権額は、前年度末比1,215百万円増加して40,675百万円、総与信に占める割合は2.15％となりました。

		令和９年３月期 第２四半期	前年同期比
損益	経常収益	23,338百万円	1,022百万円
	コア業務粗利益	15,134百万円	901百万円
	コア業務純益	7,626百万円	896百万円
	経常利益	5,622百万円	△125百万円
	中間純利益	4,076百万円	760百万円
	本業利益（外貨調達コスト控除後）	5,756百万円	1,428百万円
	与信関連費用	1,651百万円	△2,236百万円
		令和９年３月期 第２四半期末	前年度末比
主要勘定残高・諸比率	総資産	25,258億円	758億円
	預金等（譲渡性預金を含む）	22,319億円	411億円
	総預り資産	23,993億円	535億円
	貸出金	18,401億円	638億円
	有価証券	3,901億円	123億円
	自己資本比率（国内基準）	9.80％	△0.08％
不良債権	金融再生法開示債権額	40,675百万円	1,215百万円
	総与信に占める割合	2.15％	△0.01％

（２）令和９年３月期通期（令和８年４月１日～令和９年３月31日）単体業績予想

令和８年５月14日に公表しております令和９年３月期通期の単体業績予想につきましては、以下のとおり修正しております。

（単位：百万円）

	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	10,950	7,400
今回修正予想（B）	11,150	7,700
増　減　額　（B－A）	200	300
増　減　率　（％）	1.8	4.0

以　上

【本件に関するお問い合わせ先】
トモニホールディングス株式会社　経営企画部　TEL：087-812-0102
株式会社徳島大正銀行　企画部　TEL：088-656-1118
株式会社香川銀行　総合企画部　TEL：087-812-5132